

(単元) 保育

(本時のねらい)

子どもの生活を、聞き取り調査や適切な資料を活用することを通して、基本的な生活習慣や心身の発達の側面から発達の過程を考察させる。

(ICT活用方法)

子どもの発達段階を時系列で確認するために、電子黒板を活用して画像や動画等の視覚的なアプローチを行う。デジタルビデオやカメラで撮影した育児の様子を視聴する。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T活用方法	備考
導入 10分	○本時の学習内容の確認 ・子どもの成長の様子を確認する。	・子どもの発達段階を時系列で示す。	・電子黒板で発育・発達の区分を提示する。 ・実物投影機使用	
展開 35分	○保育人形を使って育児を体験する。 ○子どもの人間形成に必要な親の役割についてグループで検討する。	・おむつ替えや着替えなど実際の状況に合わせる。 ・子どもたちの発達段階に応じた、人間関係の基礎となる親とのかかわりや社会的自立に必要なとされる親の役割について検討させる。	・電子黒板で作業工程を確認させる。 ・電子黒板で資料を映し出す。 ・実物投影機使用 ・電子黒板で各グループ発表をさせる。	
まとめ 5分	・本時の内容の整理をする。	・自己評価と感想を書かせる。		

(授業の様子)

資料の投影



実物投影機



保育体験



(生徒の反応と課題，改善を要する点)

お手本となる作業を事前に撮影して，提示すればもっと生徒はわかりやすかったと思われる。生徒用タブレット端末と電子黒板を接続して発表できるようにしたい。